

安藤太郎 あいでう 外交官、禁酒運動家。弘化二年四月江戸生れ、大正十三年十月(二十七日)没(一八四一—一九二四)。安井息軒の漢學を、大村益次郎の蘭學を學ぶ。戊辰戦役では榎本武揚等と箱館五稜郭に籠った。その後外務省に出仕、翻譯官となる。明治四年岩倉具視を全權に大使とする歐米巡察に隨行。のち香港領事、外務省通商局長等を歴任。退官後の二十年、日本國民禁酒同盟を組織した。

著書『在布哇受洗の始末』(拾四版・明治四十年十月)、『日教文館』、『安藤太郎文集』(昭和四年八月)、『日本國民禁酒同盟』等。